

# くずまき 議会だより



**2年度の決算**

**100億円超の大型決算を認定**

2p

**通学路の安全充実は** ～5議員が一般質問～

4p

**2年度決算を見る** ～決算の質疑など～

12p

笑顔のつどい ④④



表紙

葛巻高校  
陸上競技部  
(関連16P)

# 今ここが聞きたい

9月7日、5議員が一般質問を行いました。

一般質問は、町の行政全般にわたり、事務の執行状況や将来の方針などを幅広い視点から報告や説明を求め質問します。

議員の質問できる時間は、1時間以内です。

議事録の内容は、町のホームページと議会事務局で閲覧できます。

## 4 ページ

### 近藤 聖 議員

- ①新しい橋のキャッチフレーズについて
- ②新しい橋の名称について

## 5 ページ

### 山崎 邦廣 議員

- ①通学路の安全充実について

## 6 ページ

### 遠藤 裕樹 議員

- ①障害者福祉の現況と取組みについて

## 7 ページ

### 姉帯 春治 議員

- ①森林整備について

## 8 ページ

### 柴田 勇雄 議員

- ①五日市小学校校庭の不具合遊具等と栗山地区の子供遊び場の管理状況について
- ②町道及び国道等の整備促進について
- ③町ホームページの防災カメラ情報の不具合について



町長に意見書を提出する監査委員

### 監査委員の意見

2年度決算はすべての会計が黒字となった。歳入では、町税などの収入未済額は、前年度に比べて減少しているが、今後

の徴収の取り組みに対する創意工夫を求める。地方税法に基づいた不納欠損処理も行っているが、滞納が長期にわたっているものもあり、徴収を基本としながら、事案により適切な対応をされたい。

2年度は、新型コロナウイルス感染症対策のほか、定額給付金事業、ワクチン接種の計画・準備など前例のない業務が多かったが、スピード感を持って進められ、住民の安心感へとつながった。平成27年、県内で初め

て葛巻高校に山村留学制度が導入され6年が経過した。留学生も年々増加の傾向にあり、令和2年度は過去最多の16人が入学した。また、無料で通える「町営学習塾」と連携することで、国公立大学への進学者は小規模校として他に類のない増加の傾向にある。

ワクチン接種は全国的に進んできているものの、変異株の出現などで出口の見えない状況にあるが、町勢発展と町民福祉のさらなる向上を実現されることを切望する。

### 財政健全化判断比率は「健全」を維持

「財政健全化法」に基づく2年度の一般会計・特別会計の決算、及び第3セクターなどの決算を含めた各指標は、いずれも基準を下回りました。

#### 健全化判断比率

各指標 (早期健全化基準)		2年度	元年度	比較
実質赤字比率	(15%未満)	赤字なし	赤字なし	-
連結実質赤字比率	(20%未満)	赤字なし	赤字なし	-
実質公債費比率	(25%未満)	8.4%	7.6%	0.8
将来負担比率	(350%未満)	5.5%	なし	皆増

#### 資金不足比率

経営健全化基準は20%未満で、対象となる農業集落排水事業の資金不足は発生していません。

# 100億円超の大型決算認定

## 新庁舎建設やコロナ対策進む



順調に進む新庁舎建設工事

### 9月定例会議

9月定例会議は、9月3日から10日までの8日間の日程で行われました。町長から提出された議案は、2年度会計の決算認定のほか3年度補正予算など15議案で、全議員の賛成で原案どおり『決定』しました。

一般質問は5人の議員が登場し、町の対応や考えをいただきました。

支出は  
前年度比で26億円増

2年度の全会計の総支出額は、100億1259万円。前年度比26億388万円、35.7%増加しました。

一般会計の支出額は、88億7409万円。前年度比26億6535万円、42.9%増加しました。新庁舎建設事業やコロナ対策の定額給付金事業などが主な要因です。

三つの特別会計の支出総額は11億3850万円。前年度比3146万円、2.7%減少しました。

地方債は前年度比9億8451万円、12.8%増加しましたが、純繰越金等を活用した財政健全化の取り組みも行っています。

一般会計決算の詳しい内容は、12〜13ページをご覧ください。

### 2年度決算の状況

会計名	収入	支出
一般会計	96億6898万円	88億7409万円
特別会計	国民健康保険事業	8億6338万円
	農業集落排水事業	1億9587万円
	後期高齢者医療事業	7925万円
合計	108億5987万円	100億1259万円



やまざき くにひろ 山崎 邦廣 議員

### 問 通学路の安全充実策を伺う

### 答 県への要望と合わせ、町道の充実推進

**関係機関との連携**  
**議員** 県、警察、町内各学校などの連携の現状と今後の取り組みを伺う。  
**町長** 町では、通学路における安全確保を目的に、関係機関で構成する「葛巻町通学路安全推進会議」を平成27年に設置し、「通学路安全プログラム」を策定するとともに、年一回の点検を継続的に実施し、点検結果を踏まえた安全対策の検討と充実のほか、危険箇所公表などに取り組んできている。

このような中、先般、千葉県で痛ましい事故が発生したことを受け、国の関係機関より通学路の合同点検の実施と危険箇所の確認について依頼があり、町では、9月に予定していた「葛巻町通学路安全推進会議」による年一回の点検において、改めて危険箇所の確認を



葛巻小学校の通学路（国道281号線、田子付近）

行うとともに、通学路における安全確保対策に取り組んでいく。  
 また、通学路を含め道路全般における安全で安心な通行を確保するため、国道、県道における危険箇所について、毎年8月に盛岡広域振興局を經由し岩手県に改善の要望を実施している。今後、早期に安全が確保さ

れ、安心して通行できる道路整備の要望を継続していく。  
**町道のハード対策**  
**議員** 通学路の安全充実について、今後の対策を伺う。  
**町長** 町では、「葛巻町通学路安全推進会議」による年一回の点検において抽出された危険箇所や

地域からの要望などを踏まえ、カラー区画線などの設置のほか、歩行空間の分離などによる安全対策を講じてきた。  
 併せて、交通指導員による交通安全教室の開催のほか、スクールガードリーダー、教職員、保護者による通学路の見守りなど、ソフト面での対策にも取り組んでいる。  
 現在、町道茶屋場田子線の開通に伴い、本路線の交通量の増加が見込まれ、これまでも多くの児童生徒が通学路として使用しているため、歩道の未整備区間の解消に取り組むことにしている。  
 また、その他の路線についても、通学路における安全の充実を図りたい。少子高齢化が進むなか、児童生徒の教育環境充実に積極的に取り組む町として、しっかり進めていく。



こんどう きよし 近藤 聖 議員

### 問 新しい橋の名称は

### 答 「おおばし」とする予定

**新しい橋のキャッチフレーズについて**  
**議員** 新しい橋を「木橋」と発信しているが、今後キャッチフレーズをどのように使うのか伺う。  
**町長** 林業振興や中心市街地のにぎわい創出などのため、町産材活用を検討してきた。当初構想では全体構造を木材で建設する考えだったが、強度・耐久性・橋梁としての許容取得などの課題により、主構造はコンクリートで、上屋に木材を使用することにした。  
 計画検討の思いや情報発信力、聞きやすさ、なじみやすさなどを総合的に勘案し、便宜的な表現として「木橋」を使用しているものである。今後、改めて統一的な表現にすることは考えていない。  
**議員** 木材活用は上屋部分であり、構造的に「木

橋」と呼ぶには違和感や疑問を感じる町民や観光客がいるのではないかと。  
**建築水道課長** 建設工事は「上屋付き橋梁」して進めている。「木橋」は、道路構造物として使っているのではなく、便宜上、木材を使っている橋として総称で使っている。  
**副町長** 構造物の定義としてではなく、町の基幹産業である林業の振興・PRやまちなかの観光への集客力の向上へどう発信するかという思いなどから、木材を使った施設として「木橋」と表現している。  
**議員** 「日本一の木屋根橋」として発信する方がよりふさわしく安心感があるのではないかと。  
**副町長** くずまき観光地域づくり協議会のくずまき型DMOなどで検討し、特徴を生かした効果的な情報発信に努めたい。



橋桁の設置が進む大橋架替工事

**新しい橋の名称について**  
**議員** 広報などで掲載されているイメージ図では「くずまきおおばし」となっているが、これで決定か。また、新しい名称にする考えはないか。  
**町長** 先人の思いが込められており、町民にとってもより親しみがわくものと考え、現在の名称を継承し、「おおばし」とする予定である。  
 また、新たな町のシン

ボル、ランドマークとして、場所や施設がイメージしやすい表現を取り入れてPRするため、情報発信の内容・方法については改めて検討していく考えである。  
**議員** 橋の新名称・愛称を町民から公募する考えはないか。  
**副町長** 地域住民の要望を踏まえ、現段階では「おおばし」とする予定だが、DMOなどで、さらに検討したい。



あねたい はるじ 姉帯 春治 議員

### 問 町の森林整備はどう進めるか

### 答 補助事業を活用し計画的に進める

**議員** 民有林の整備はどのように進めていくか。

**町長** 平成28年度から5年間に町に届け出があった私有林の伐採状況は年平均で63件、皆伐面積160畝のうち再造林が行われた面積は年平均で71畝、再造林率は44割である。

現在、国の事業として「森林環境保全直接支援事業」が創設され、当町では町森林組合がこの事業を活用し「植付け」「下刈り」「除間伐」「造林作業道整備」などに係る経費の一部を、県・盛岡広域振興局から直接、補助金として交付を受け事業を実施している。

民有林の整備状況は、人工林の多くが50年生を迎え、循環利用に向けた植付け、下刈りの作業量が増加する一方で、3割



倒木が目立つ根地戸の町有林（2年12月）

級以上で実施する除伐等の森林整備は減少傾向にあり、平成27年以降は年間10割前後で推移している。

町では平成31年4月に施行された「森林経営管理法」において、森林所有者には適時の伐採、造林、除伐、保育、間伐などの実施を含め、適切な森林管理が義務として明確化されたことから、制度の周知を図るとともに、補助事業等を活用しながら適切な管理が行われるよう努める。

併せて森林環境譲与税

を活用する新たな森林経営管理制度の対象となる森林約3000畝は、昨年度意向調査を終え、本年度、調査結果をもとに経営管理権集積計画の策定を進めている。整備の進まない森林の集積、意欲と能力のある林業事業者への橋渡しなど、森林が持つ豊かな資源と公益的機能が十分発揮されるよう努める。

**町有林の管理**

**議員** 町有林の管理はどのように進めていくか。

**町長** 現在、町有林の総

面積は1635畝で、林齢別では46～55年生が34割、56～65年生が45割となっている。

これまで、町有林については長伐期施業の森林経営計画としているため、ここ数年は主伐を行っていない状況で、造林や保育、伐採などが計画的かつ適切な森林管理に努めてきた。この5年間の実績としては地拵え、植付け、下刈り、間伐など総面積152畝の施業を実施した。

また、町有林は先人が大事に守り育ててきた資源であり、町民の貴重な財産でもあるので、次代を担う世代にしっかりとないでいくためにも、現在進めている新庁舎の建設で一部部材として使用する予定である。

引き続き、国・県の補助事業を活用し計画的に森林整備を進めたい。



えんどう ひろき 遠藤 裕樹 議員

### 問 障がい者福祉の現況と取り組みは

### 答 福祉サービスの充実を推進

※本議会で作成する公文書等では「障害」を「障がい」とひらがな表記します。



毎週水曜日に焼きとりを販売している福祉作業所

**障がい者福祉の実情は**

**議員** 福祉サービスの実情を身体、知的、精神障がい及び難病患者等、障がい者ごとに説明を。

**町長** 現在、障がい者福祉サービスはヘルパーなどによる訪問系サービス、デイサービス、施設入所支援、共同生活援助、短期入所の介護給付、就労継続支援B型の訓練等給付のほか、児童発達支援などのサービスが実施さ

れており、身体障がい者手帳345人、療育手帳90人、精神障がい者保健福祉手帳62人。他にサービスを利用できる各種受給者証の所有者は186人である。

サービスの給付総額は2億5360万円程となっている。

**福祉サービスの内容は**

**議員** 他の市町村と比較したサービスの内容はどうか、不足している点は

ないか伺う。

**町長** 障がい者福祉におけるニーズは、それぞれの市町村で障がい害者の人数や程度により異なるため、一律に比較するのは難しい。

現在、町単独で実施している事業として「障がい者等通院交通費助成事業」「自立支援給付費等利用者負担助成事業」「高齢者等外出支援事業」「発達障がい児療育支援事業」「すてっぷクラス事業」「特別支援学校等通学通所支援事業」「ぬくもり助成事業」などがある。

他にも関係機関との連携による相談支援体制により、障がい者の自立と社会参加の促進を図るとともに、家族を含め町内で安心して生活を送ることができきめ細やかな支援やサービスの提供を心がけている。

**今後の取り組みは**

**議員** 今後のサービスの充実と、新たな自立のための支援策はあるか。

**町長** 町では本年3月に「葛巻町第6期障がい福祉計画」を策定し、その中で緊急時の受け入れも含めたグループホーム等の整備の必要性、人材の確保を含め具体的な検討・協議を行いサービスの充実に向けた取り組みを進めていく。

自立への支援は重要と考えており、就労移行支援のため訓練等の給付のほか、運転免許取得費用等の一部助成や一般就労に向けた支援を実施。

また、独自の事業として職場実習を受け入れた町内事業者に対し補助金の交付を行っている。今後とも自立した生活のための取り組みを推進していく。



柴田 勇雄 議員

## 問 不具合遊具の管理状況は

## 答 修繕が難しいことから撤去

### 学校施設の早期改修整備を

**議員** 五日市小学校校庭の不具合遊具が、放置状態になっている。バックネット破損とあわせて管理改善の対応を伺う。

**町長** 五日市小学校の遊具については、老朽化が著しかったため、使用禁止としていた。遊具は修繕が難しいため撤去を、バックネットは修繕することによって調整している。

**議員** 遊具撤去後の再整備の考えは。



放置状態となっている五日市小学校の不具合遊具

**こども教育課長** 撤去後の遊具の再整備は、隣接する五日市保育園の改修や保・小連携の取り組みなどを勘案しながら整備することで検討している。

### 町道・国道の整備促進

**議員** 町道宝積寺線の出入口改修整備については、以前にも一般質問で取り上げたが、進展していない。改修整備が必要と思うが、町当局の考えは。

**町長** 本路線については、安全性や利便性の観点から



歩道整備が予定されている町道茶屋場田子線（葛葉荘付近）

ら早急な改良整備が必要な路線の一つと認識している。

一方で、本格的な改良整備を進めようとした場合、多くの時間と多額の事業費がかかることが見込まれる。

町では、国道281号線の城内小路地区の急カーブの改良を国・県に継続要望していることから、一体的な改良について国道を管理する。

県・岩手土木センターなどとも協議しながら、

本路線の改修整備に向け検討を進めたいと考えている。

**議員** 町道茶屋場田子線の総合センター裏から、田子ふれあいセンター間の整備工事の進捗状況は。

**町長** 本路線の歩道は、馬淵川側に幅員2mで整備する。

一部の工事着手を本年度行うことで進めており、令和6年度中の完成を見込んでいる。

### 防災カメラの不具合

**議員** 町のホームページにある防災カメラ情報10カ所のうち、4カ所の映像がない。

今後の適切な運用について伺う。

**町長** 設備の耐用年数のほか設備の移設に係る経費等を総合的に勘案し、来年度の新庁舎完成に合わせて更新を予定している。

9月定例会議で人事案件や条例改正、3年度補正予算などの審議が行われました。主な内容は次のとおりです。

### 人事案件

●人権擁護委員の候補者の推薦に関し意見を求めることについて  
藤岡徹さん（新町）、荒谷光子さん（小田）の推薦に関し、意見適任としました。任期は6年9月30日まで。

### 条例改正

●復興産業集積区域における固定資産税の課税免除に関する条例を廃止する条例  
東日本大震災復興特別地域法による地方税関係条例の一部改正により、岩手県内市町村に廃止する旨の通達があり、対応するもの。

### 補正予算

◇一般会計（第2号）  
3億5118万円追加し、総額を8億7533円としました。  
主な内容は下の表のとおり。

◇農業集落排水事業特別会計（第1号）  
645万円追加し、総額を2億2775万円としました。  
主な内容は、下の表のとおり。

### 補正予算の主な内容

会計名など	補正額	補正後の予算額
一般会計（第2号）	3億5118万円	80億7533万円
主な使いみち		
■財政調整基金等積立金	2億5000万円	
■庁舎建設事業費	1500万円	
■二酸化炭素排出抑制対策事業費	1011万円	
■道路改良事業費・茶屋場田子線	1000万円	
■道路改良事業費・葛巻浦子内線	1000万円	
農業集落排水事業特別会計（第1号）	645万円	2億2775万円
主な使いみち		
■農業集落排水施設等修繕	100万円	
■町整備型浄化槽施設等修繕	100万円	

●固定資産評価審査委員の同意  
漆真下孝幸さん（大沢）を再任することに同意。任期は6年9月30日まで。

### 計画策定

●町過疎地域持続的発展計画  
新過疎法に基づき新たな過疎計画を策定。

### 過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法の適用に伴う固定資産税の課税免除に関する条例

課税免除に関する対象業種に新たに情報サービス業等を加え、取得価格の合計額の上限を変更するものなど。

### 請負契約

●高齢者福祉施設整備工事  
◇契約額 4億3890万円  
◇工期 4年3月31日

◇契約相手 (株)丹野組  
【二戸市】  
◇内容 二階建て、延べ床面積1187平方メートル。一階は一般浴室や休憩室、事務室。二階の集会室と会議室は避難所として兼用でき、自家発電室や備蓄庫も併設。バリアフリーに配慮した施設。

◇契約相手 大伸工業(株)【盛岡市】  
◇内容 浴室を施設入所者とデイサービス利用者で分離し、新型コロナウイルス拡大防止のため整備。特別浴槽2基の入浴室や、面会室、会議室など。

●特別養護老人ホーム高

財産取得

- 学校情報機器
- ◇ 契約額 1716万円
- ◇ 納期 3年12月28日
- ◇ 契約相手 日東通信(株)岩手支店【盛岡市】
- ◇ 内容 タブレット型パソコン(ソフト含む)の整備。教師用など100台。天吊りプロジェクト及び天吊りスクリーン各24台。移動式プロジェクト7台。

意見書

● コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書の提出

地方の安定的な財政運営に必要な財源を確保・充実することを求めるなど5項目について、内閣総理大臣等へ意見書を提出しました。

【主な質疑】

脱炭素対策

農林環境

問 二酸化炭素排出抑制対策事業費の委託料の内容は。

答 昨春秋、国でカーボンニュートラル、2050年に二酸化炭素の排出をトータルでゼロに抑えるという目標を設定したことを受けてのもの。各市町村でつくる温暖化対策の計画などで目標設定



昨年稼働している上外川風力発電施設

することが盛り込まれ、国から100割の補助を受け計画を策定する。

住民の意向調査等を踏まえ、風力、太陽光などの再生可能エネルギーをどのように活用するかという検討が中心となる。

※カーボンニュートラル 地球温暖化の主な原因となる二酸化炭素排出量を抑制するための考え方を排出量から吸収量、除去量を差し引いた合計をゼロにすること。

ワクチン接種

健康福祉

問 希望者に対するワクチンの集団接種が8月までに完了したが、接種率はどうか。

答 9月6日現在、1回目が89・6割、2回目は88・8割である。

今後、12歳から15歳までの人に接種券を郵送、希望者に10月までに接種する予定で進めている。

ふるさと納税

収入

問 自主財源として期待されるふるさと納税の状況、人気の返礼品とその対応の体制はどうか。

答 7月末までの実績は、122件322万円。本年度からインターネットでの受付へ移行している。寄付額1万円の件数が一番多く、ふるさとセットというワインと牛肉の

基金の見通し

総務

セット、乳製品のセットなどが人気。組み合わせなどを検討し、返礼品の魅力を高めたい。お歳暮などの時期にも対応できるように調整したい。

問 町の主要3基金(財政調整基金、町債減債基金、地域づくり振興基金)の中で、動きのない基金もあるが今後の見通しは。

答 財政調整基金は、一般的に標準財政規模の10割程度が適正水準で、本町は20割ほどを積み立てている。減債基金の基準は特に定めはなく、借入残高の10割ほどを目安に積み立てしている。

減債基金の活用は、地方債の繰上償還、中長期的な財政のコントロールをする重要な役割。基金を有効活用し、事業の推進を図りたい。

議員の判断(議決結果)

議案等番号	件名と主な内容	議決結果	賛否
3年度：補正予算			
議案第22号	一般会計(第2号)…3億5118万円増額し、80億7533万円に	可決	全員賛成
議案第23号	農業集落排水事業特別会計(第1号)…645万円増額し、2億2775万円に	可決	全員賛成
条例改正			
議案第24号	復興産業集積区域における固定資産税の課税免除に関する条例を廃止する条例…岩手県内市町村への通達により廃止	可決	全員賛成
議案第25号	過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法の適用に伴う固定資産税の課税免除に関する条例…新たな対象業種に情報サービス業等を加え、取得価格の合計額の上限を変更	可決	全員賛成
契約・財産取得			
議案第26号	高齢者福祉施設整備工事…契約相手：(株)丹野組【二戸市】、契約金額4億3890万円	可決	全員賛成
議案第27号	特別養護老人ホーム高砂荘浴室等整備工事…契約相手：大伸工業(株)【盛岡市】、契約金額1億6115万円	可決	全員賛成
議案第28号	財産の取得…取得内容：学校情報機器、契約相手：日東通信(株)岩手支店【盛岡市】、契約金額1716万円	可決	全員賛成
計画の策定			
議案第29号	葛巻町過疎地域持続的発展計画…新過疎法に基づき新たな過疎計画を策定	可決	全員賛成
人事案件			
議案第30号	人権擁護委員の候補者の推薦に関し意見を求めること…藤岡徹さん(新町・再任)	意見適任	全員賛成
議案第31号	人権擁護委員の候補者の推薦に関し意見を求めること…荒谷光子さん(小田・再任)	意見適任	全員賛成
同意第11号	固定資産評価審査委員会の委員の選任…漆真下孝幸さん(大沢・再任)	同意	全員賛成
2年度：決算			
認定第3号	一般会計…歳入総額96億6898万円、歳出総額88億7409万円	認定	全員賛成
認定第4号	国民健康保険事業勘定特別会計…歳入総額9億551万円、歳出総額8億6338万円	認定	全員賛成
認定第5号	農業集落排水事業特別会計…歳入総額2億232万円、歳出総額1億9587万円	認定	全員賛成
認定第6号	後期高齢者医療事業特別会計…歳入総額8305万円、歳出総額7927万円	認定	全員賛成
発議案			
発委第3号	コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書	可決	全員賛成

くずまきテレビ録画放送の予定

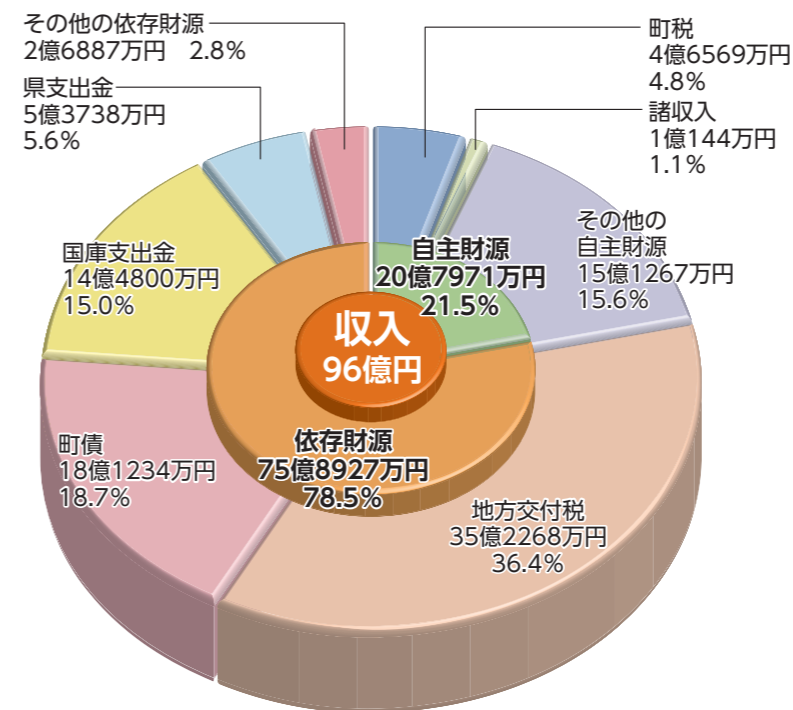
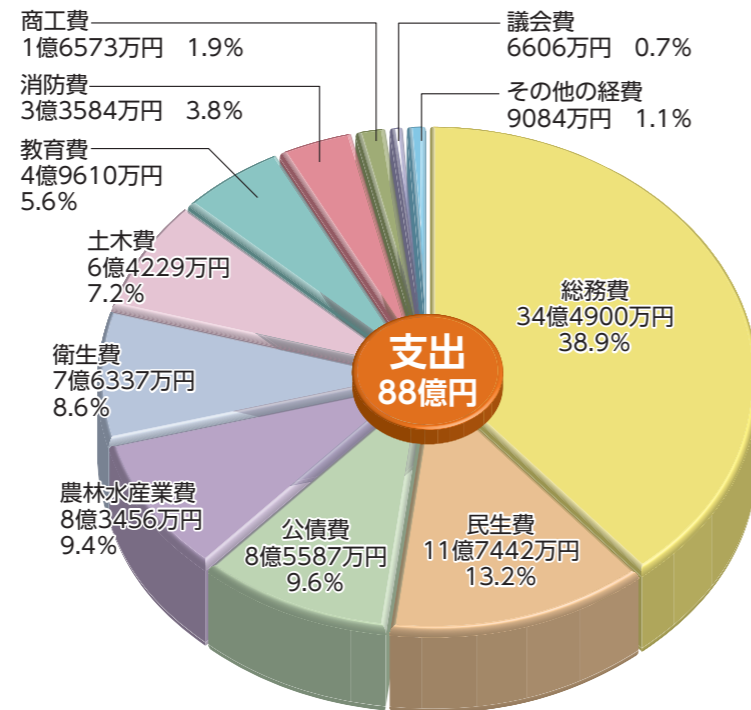
月日	時間	内容
10月8日(金)	9時～	議案説明、一般質問
	17時～	議案審議

月日	時間	内容
10月9日(土)	9時～	議案審議
	17時～	議案説明、一般質問
10月10日(日)	9時～	議案説明、一般質問
	17時～	議案審議

# 新庁舎建設により支出増

# 基金微増・町債増加

項目	内容
総務費	町の財産管理や町税の事務などに充てる経費
民生費	高齢者や障がい者、保育所運営など社会保障に充てる経費
公債費	事業のために国などから借りたお金の元利償還金
農林水産業費	農林・畜産業の振興などに充てる経費
衛生費	保健・衛生・環境などの業務に充てる経費
土木費	道路・公園・河川などの建設や維持管理に充てる経費
教育費	小・中学校の運営や社会教育・体育事業に充てる経費
消防費	防災や災害時の活動などに充てる経費
商工費	商工業や観光の振興などに充てる経費
議会費	議会の運営に充てる経費
その他の経費	災害復旧費、労働費、諸支出金、予備費などの経費



項目	内容	
自主財源 〔町が自力で収入できるお金〕	町税	町民税や固定資産税など、町民の皆さんからの税金
	諸収入	町税の延滞金や預金利子など
	その他の自主財源	保育料など、他の収入科目に含まれないお金
依存財源 〔国・県などからのお金、交付、割当てられるお金〕	地方交付税	町の財政需要の状況により国から配分されるお金
	町債	事業を行うために国や金融機関などから借りるお金
	国庫支出金	事業を行うために国からもらうお金
	県支出金	事業を行うために県からもらうお金
	その他の依存財源	地方消費税交付金、地方譲与税、自動車取得税交付金など

## 住民一人当たりになると

<p>繰出金 5.5%</p> <p>84,000円</p>	<p><b>1,525,000円</b></p> <p>(3年3月末の人口) 5,818人</p>	<p>人件費 10.2%</p> <p>156,000円</p>
<p>負担金など 29.9%</p> <p>456,000円</p>	<p>建設事業費が27万円増えたわ</p>	<p>扶助費 5.9%</p> <p>90,000円</p>
<p>物件費 9.5%</p> <p>145,000円</p>	<p>建設事業費 29.4%</p> <p>448,000円</p>	<p>公債費 9.6%</p> <p>146,000円</p>

**収入** 総額は96億6898万円で、前年度比26億6577万円、38・1割の増です。歳入全体の36割を占める地方交付税は35億2268万円で、前年度比2億5729万円、6・2割増加しました。町債は18億1234万円で、新庁舎建設工事などの大型のハード事業により前年度比12億6994万円、234・1割の大幅な増加となりました。町税は4億6560万円で、前年度比1293万円、2・7割減少しました。

**支出** 総額は88億7409万円で、前年度比26億6535万円、42・9割の大幅な増加となりました。総務費は34億4899万円で、新庁舎建設事業費や基金積立金の増により前年度比24億3824万円、241・2割増加しました。農林水産業費は8億3456万円で、酪農ヘルパー住宅の整備事業等により前年度比1億7060万円、25・7割増加しました。教育費は4億9610万円で、山村留学生寄宿舎整備事業の完了等により前年度比2億6302万円、34・6割減少しました。公債費は、8億5587万円で、繰上償還により前年度比6337万円、8・0割増加しました。

**基金(貯金)** 残高は57億9435万円で、前年度比1億5459万円、2・7割増加しました。町債(借入金) 残高は86億5239万円で、前年度比9億8451万円、12・8割増加しました。

輝くふるさと常任委員会（鈴木満委員長）は、9月7日に各会計の2年度決算の審査を行い、予算が効果的かつ適正に使われているか、事業の実施効果や状況はどうだったのかを確認しました。

主な質疑の内容をお知らせします。

## 徴収対策 住民会計

**問** 2年度分の税の徴収率は県平均だが、滞納繰越分の徴収率が低い。滞納の累積は、処理の困難へつながるが、滞納繰越分の処理の考え方は。

**答** 複雑な事案について相続人や時効等を徹底的に調査するが、法令に照らし合わせながら整理を進めなければならない。相続関係以外にも長期に滞納されている事案もある。同様に徹底した調査により、徴収あるいは猶予、執行停止、欠損などの処分を進めていく。本年5月から新たに税

## 滞納整理 住民会計

毎年春の徴収対策本部会議で、目標を立てている。滞納にかなり古いものがあり、不納欠損の処理が必要なものはないか。処理には事務的に大変な作業であるが、積極的に進めるべきではないか。

**答** 古い滞納分の金額は令和2年度末において、普通税が約3700万円、国保税は約4300万円ある。平成22年以前のものについても合わせて3500万円ほどある。これらを解消し、徴収率の向上につながることも長年の課題である。昨年、法律に基づいて古いものは整理すべきのご意見もいただき進めていたが、年度内に多くは処理とならなかった。未納者が亡くなっている場合、相続等の確認に



笑顔で対応する収納窓口の職員

## 時効の中断 住民会計

**問** 町民税等の2年度分の不納欠損は、9件で8万1千円となっている。不納欠損に至った理由は。

**答** 町民税のうち29年度の1件は死亡者案件、相続人全員の相続放棄が確認できての即時欠損で、22・24年度分は所在不明により催告や納税相談の折衝が確認できず、徴収権が消滅、時効となった。

**問** 本町では、収入未済額の時効中断の手続きをどのようにされているか。

**答** 分納誓約または所得税還付などがある場合は、滞納分に充当するなど、その都度、時効の中断について適正に管理している。

## 財政の分析 総務

**問** 財政指標、未収金、予算執行率、事業繰越等どう分析し捉えているか。

**答** 財政健全化率、将来負担比率ともに上昇したが、新庁舎の建設等大型事業によるもので、両指標とも県平均は下回っている。収入未済額は保育料で一部あったが、全体的には納付されており、町民の納付に対する意識

## 基金の管理 総務

**問** 動きのない基金や少額の基金があるが、今後

## 学力向上対策 こども教育

**問** 小学校、中学校の学

の基金管理はどう考えているか。財政的に優位性のある基金もあり、もっと有効的な活用をすべきではないか。

**答** 設立当初の趣旨やその効果から、変更や廃止を含めた見直しが必要なものがあると認識している。様々な検討を行い基金の有効活用を図りたい。

**問** 本年度の全国学力・学習状況調査の結果はまだ届いていない。昨年度はコロナ禍で調査は中止となったが、本町は自主的に全小中学校で実施した。

その結果と分析により、場面の状況を自分事として捉え、見直しを持ち進

切に知識・技能を活用し考えを進める力や、自分の考えを相手にわかりやすく工夫し説明する力に課題があると捉えた。

**問** 問題発見・解決能力の育成のため本年度から「くずまき創造学」と名付け、総合学習などの中で、葛巻の人的資源、自然環境、歴史、文化等を題材とした学習を取り入れ、町の次代を担う人材育成の取り組みとして各学校で実践している。



辰柳敬一 議員

2年度一般会計と特別会計の歳入歳出決算を認定することに賛成する。

2年度は新型コロナウイルス感染症の拡大により国内外を問わず感染症対策に追われ、町民の生活はもとより雇用や経済に大きな影響が出た一年であった。各種事業の中止、規模縮小、事業実施方法の調整などを余儀なくされ、当局は多大な苦労があったと思う。町の最重要課題である人口減少対策については、対面型の移住定住イベントの開催が難しい中、インターネットを活用したオンラインイベントへ切り替えて実施するなど、コロナ禍の状況下においても町の認知度の向上や移住・定住に向けた取り組みを引き続き実施している。

町債減債基金や公共施設等整備基金を活用し、町債の繰上償還等を実施するなど、将来の財政負担の軽減を図り、先を見据えた財政健全化の取り組みに努められている。

新型コロナウイルス感染症の影響により、国の財政状況が厳しい中、地方財政を取り巻く状況は、余談を許さない状況が予想されるが、引き続き、健全で持続可能な財政運営に努められるよう期待する。

一般会計は各種事業が効率的・効果的に執行されたことを評価する。

特別会計は、それぞれ趣旨に沿った執行がなされていると認められ、所期の目的が達成されている。（要約）

■反対討論なし

## 賛成討論 『健全な財政運営を評価』

**議会活動報告**

盛岡北部行政事務組合議会臨時会

【期日】 9月28日

【場所】 八幡平市役所

【出席者】 近藤聖議員、山崎邦廣議員、姉帯春治議員

【議案】 条例改正1件、補正予算1件



# くずまきの笑顔

## 葛巻高校 陸上競技部



葛巻高校陸上競技部(部員10人)の畑周さん(2年)は、9月10～12日に行われた第72回岩手県高等学校新人陸上競技大会の男子走高跳で第2位(記録:1m95)、三段跳でも第3位(記録:13m11)に入賞しました(ともに自己ベスト)。また、4×100mや4×400mのリレー種目でもB決勝(9～16位レース)へ進み、決勝進出まであと一步のところまでチーム全体が力をつけてきています。

取材当日は、軽米高校との合同練習で、一人一人が全力で、明るく声を掛け合いながら練習に励んでいました。(青いTシャツが葛巻高校の部員)

## 情報公開

議長が議会の対外的活動をするための経費が議長交際費です。各団体の総会、式典の会費が主なものです。

「7月～9月の支出はありません」

次の定例会議は**12月3日(金)**です。

「くずまき議会だより」は、ユニバーサルカラーとユニバーサルフォントに対応しており、より多くの方に視認しやすく、判読しやすいように配慮して制作しております。一部当たり約79円で作成されています。  
印刷：(株)白ゆり 〒020-0122 岩手県盛岡市みたけ6-1-50

## 編集後記

パラリンピックはコロナの中、開催され何事もなく、皆さん大変感動されたことと思われます。世界のアスリートの皆様、お疲れさまでした。

また、岩手県でもコロナに負けないように、前のような日常が一日も早く戻ることに期待を持って、皆さんと気を緩むことなく、一人一人が注視しながら頑張るしかないと思われまます。

広報常任委員会  
委員 姉帯春治

森林認証した紙を使用しております。

